



東北大学グローバルCOE

第3回

Network Medicine特論

講義のお知らせ

河上 裕 博士

(慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所・所長)

がん細胞と免疫系の相互作用の解明
—効果的な免疫療法の開発を目指して—

日時：8月23日(火)17時30分
場所：医学部5号館201号室

がんの形成過程では、がん細胞と免疫細胞や他の間質細胞との相互作用により、がん細胞は、増殖浸潤が促進されたり、免疫監視機構により排除されたり、また、がん細胞のもつ遺伝子不安定性のために、免疫抵抗性や免疫抑制性を獲得して選択的に増殖したりする。その結果、臨床で認められるがん細胞は、長年かけて免疫防御機構から逃れた不均一な細胞集団となっており、そのようながん細胞に対して免疫療法の効果が期待できるかは疑問である。しかし、私たちは、ヒトがん免疫応答の細胞分子レベルでの解析、そして臨床試験での検証により、多発転移をもつ進行がんであっても、免疫による制御が可能な場合があることを示してきた。本講義では、がん免疫応答の最近の知見と免疫療法の可能性について議論してみたい。

Network Medicine特論では、最新のNetwork Medicine研究を紹介しています。最新の医学研究を理解するために必要な知識を多くの学生・教員間で共有したいと思えます。

Network Medicine特論は医学履修課程の大学院講義です。受講学生は履修簿を持参し、修了後にサインを受けること。聴講は自由大歓迎です。皆さん是非ご参加ください。

拠点リーダー 岡 芳知 / 担当 石井 直人(内線8096)